

第35号 滄水会ニュース

滄水会ニュース 第35号 発行：2025年7月 発行者：滄水会会長 小路幸市郎
 編集委員：池田知純、塚崎英世、斎藤誠二、船木裕之、大川正洋、古賀俊彦、森口肇、貴志浩久、新家寿健、
 秋葉将和、山田晃司、多々良敏也、小坂大吾、遠藤雅樹、高橋潤也、佐畑友哉、室伏竜之介
 〒187-0035 東京都小平市小川西町 2-32-1 職業能力開発総合大学校校内 滄水会事務局
 E-mail : sousuikai@uitec.ac.jp

【TOPICS】

■ 森本副会長からのご挨拶	1
■ 令和6年度卒業式・滄水会賞授与式	3
■ 職業大の今	5
■ 総合課程卒業生の現在	6
■ 建築系の卒業生に対するアンケート結果	8
■ 職業大学生課からのお知らせ	9
■ 【職業大イベント】PTUフォーラム2025のご案内	10
■ 事務局だより	11

森本副会長からのご挨拶

会員の皆様、いつも滄水会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。副会長の造形工学科32期、森本忠典です。会報第35号をお届けするにあたり、巻頭のご挨拶をさせていただきます。

私自身はまだ滄水会に携わって2年と日が浅く、諸先輩方から多くを学ばせていただく立場ではございますが、昨年度の卒業式においては、非常に印象深い機会を頂戴いたしました。

急遽ではございましたが、代役として卒業生の皆様へお祝いの言葉を贈るという大役を仰せつかったのです。壇上から眺めていると、それぞれの道へ力強く羽ばたこうとする卒業生たちの輝かしい姿は大変刺激的であり、若かりし頃の自分を見つめ直させる経験でした。

母校で過ごした日々は、皆それぞれのやり方で技術に向き合ったかけがえのない時間だったのではないのでしょうか。一生懸命に勉学に励んでいた人も、私のように回り道をした人も、皆が同じ学び舎で得た経験や知識、そして人との繋がりが、今の皆様の現場での力や貢献に少なからず繋がっているはずです。卒業して月日が経った今だからこそ、あの頃の経験一つ一つに新たな気づきがあったり、当時の仲間や先輩後輩との再会が思いがけない仕事のヒントや、新たな挑戦への大切な糧となることもあるのではないのでしょうか。



滄水会副会長 森本忠典
 (造形32期)
 リパロジック株式会社
 代表取締役

これだけ多様な現場で奮闘されている卒業生がいながらも、互いの近況が見えなくなり十分な繋がりを保てていない部分があるのではないかと感じております。社会の変化のスピードが速まる今だからこそ、あの頃を共にした仲間、同じ技術を学んだ同志が、それぞれの経験や知見を気軽に分かち合い、互いの力となることの価値は、一層高まっているはずで。

滄水会が目指すのは、社会の第一線や機構で活躍する卒業生同士の繋がりを糧になるものとする、その繋がりを通じて個々のさらなる成長を後押しし、それぞれの現場や社会全体に貢献していく。ということではないかと考えております。

最先端技術の話も、教育に対する工夫話も、あるいは学生時代のちょっとした思い出話も、全てが交流の糸口となり、皆様の『糧』となるような、温かくもシナジーを生み出す会でありたいと思います。誰もが気軽に「来てよかったな」「また来たいな」と感じていただけるような、そんな繋がりを皆様と一緒に育んでいけたらとても嬉しいです。

結びに、会員の皆様の今後益々のご健勝と、それぞれの分野でのさらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。なんだかんだ言って私たちにとってかけがえのない時間を過ごした母校です。皆様と改めて縁を深め、共に滄水会を盛り上げながらお互い発展していくのはいかがでしょうか？

今後とも滄水会の活動へのご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

滄水会副会長 森本忠典 (造形 32 期)

令和6年度 職業能力開発総合大学校
卒業・修了証書授与式及び学位記伝達式



令和6年度 職業能力開発総合大学校
卒業・修了証書授与式及び学位記伝達式



令和6年度卒業式・滄水会賞授与式

令和7年3月21日（金）ルネ小平（小平市民文化会館）にて令和6年度職業能力開発総合大学校卒業式及び第30回滄水会賞授与式が執り行われました。滄水会賞授与式では、森本副会長より将来、社会において大いに貢献が期待される卒業生4名に「滄水会賞」が授与されました。受賞者のみならず、すべての卒業・修了生のご活躍と社会への貢献を、滄水会会員一同心より祈念しております。



左から、電気専攻 久保 裕真さん、電子情報専攻 川勝 裕太さん、
新野校長、森本副会長、建築専攻 小川 日向さん 機械専攻 岩城 明日香さん

【受賞者から喜びの声】

・機械専攻 岩城 明日香（いわき あすか）さん

この度は、滄水会賞という大変名誉ある賞を受賞させていただき、誠にありがとうございます。私が滄水会賞を受賞できたのは、共に成長してきた機械専攻の仲間たちと、いつも熱心に指導して下さった先生方の助力があったからこそだと感じております。職業大では、専門的な知識や理論を講義だけでなく、実験や実習の中でそれらを自分の目で確かめることができました。さらに、実験や実習を通じて実践的な技術・技能を身に付けることができ、職業大ならではの貴重な学びを得ることができたと思います。

私は4月から静岡職業能力開発促進センターに配属となります。職業大で学んだことを活かして、受講生の方々に確かな知識と技能を付与し、日本経済に貢献できるような指導員になりたいと思います。これからも日々勉学に励み、研鑽を重ねて参ります。今後も暖かい目で見守っていただけたら幸いです。この度は、大変名誉ある賞を受賞させていただき、誠にありがとうございました。重ねてお礼申し上げます。

・電気専攻 久保 裕真（くぼ ゆうま）さん

この度は、滄水会賞という身に余る賞を頂戴し、大変光栄に存じます。同時に、名誉ある賞に恥じぬよう身の引き締まる思いでございます。受賞に際しまして、これまでご指導いただいた先生方をはじめ、周囲の皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。

職業大で取り組んだ様々な学習は、どれも印象深く私の心に残っております。特に、豊富で実践的な実験・実習を通じて、電気工学に対する理解をより深めることができました。苦戦することも多々ありましたが、意欲を持ち根気強く日々の学習に取り組んでまいりました。そして何よりも、学習を通じて新たな知見を得たときの充実感が、私にとっての学ぶ原動力となりました。「もっと知りたい」「もっとできるようになりたい」という気持ちが、職業大での日々の学習を支えてくれたと考えております。この経験は、今後社会人として歩んでいく上での大きな基盤になると確信しております。

私は4月から民間企業に就職いたします。ものづくりに携わる技術者として、職業大で培った学びを存分に発揮できればと考えております。今後も努力を惜しまず、技術者としての道を邁進してまいります。最後になりますが、この度の受賞について重ねて深くお礼を申し上げますとともに、貴会の益々のご発展をお祈り申し上げ、受賞の言葉とさせていただきます。

・電子情報専攻 川勝 裕太（かわかつ ゆうた）さん

このたび、滄水会賞を受賞することができ、大変嬉しく思います。職業大での学びは、単なる知識の習得にとどまらず、実際に「使える力」を身につけることを重視していました。講義で学んだ理論を、実習などを通じて実践し、試行錯誤を繰り返す中で、ときには失敗を経験しながらも、改善を重ねていきました。このプロセスを通じて、実践的な技術のみならず、問題解決能力や周囲と協力する大切さも学ぶことができました。仲間と共に努力し、成長できた時間は、私にとってかけがえのないものです。苦しい瞬間も数多くありましたが、それを支えてくださった先生方や励まし合った仲間のおかげで、今日の自分があるのだと実感しています。

4月からは指導員として経験を積む傍ら、研究学域において研究活動に取り組む予定です。これまでに培った知識と経験をさらに深め、専門性を高める貴重な機会と考えています。職業大で養った実践的な姿勢を基盤とし、研究を通じて社会に貢献できる成果を追求していきます。最後になりますが、私を指導してくださった先生方、支えてくださった仲間の皆様、そしてこのような素晴らしい賞を贈ってくださった関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

・建築専攻 小川 日向（おがわ ひなた）さん

この度は、滄水会賞という賞を頂戴し、大変光栄に存じます。このような賞を受賞させていただいたのは、ひとえに友人や家族、建築専攻の同期の仲間たちの助けや、先生方のご指導の賜物と存じております。職業大での4年間は実践的な実習が多く、座学では学ぶことのできない貴重な知識や経験を得ることが出来ました。先生方においては、座学や実習での的確な指導だけでなく、進路選択や就職活動など、勉学以外の面でも親身に相談に乗っていただきました。また建築専攻の仲間とは、学内外問わずともに時間を過ごし、大変刺激を受けました。このような学生生活を通して得られた経験は、建築に携わる技術者として将来大きな助けになると確信しております。

来年度からは、施工管理者として職業大で得た実践的な学びを生かし、建築生産の最前線に携わります。常に変化し続ける建築業界へ飛び込むことには一抹の不安もありますが、職業大での経験を糧にして、これからも精進していく所存です。

最後に、この度は滄水会賞を受賞させていただき、誠にありがとうございました。重ねてお礼申し上げます。

◆教員の状況

現在、教員は 84 名です。教授と准教授は全員が博士号の取得者です。職業大（訓大時代も含む）の卒業生は 84 名中 38 名です。各職位における卒業生の割合は図 1 の青色部で示す状況であり、教育・研究、指導員養成などで重要な役割を果たしています。

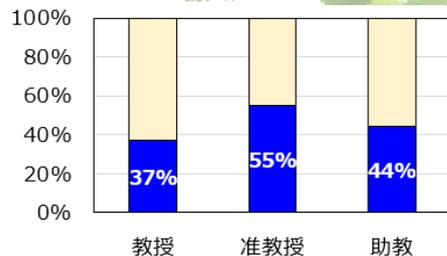


図 1 各職位における卒業生の割合

◆学生の指導員免許取得等の状況

長期課程の終了後、2012 年に開設された総合課程（機械・電気・電子情報・建築の 4 工学専攻、1 学年 80 名定員、2025.4 在籍 381 名）では、全国的な職業訓練指導員不足の対策として 2020 年度以降、訓練指導法に関する選択科目群を追加履修することで卒業時に指導員免許の取得が可能となりました。近年の指導員就職率は増加傾向にあります（図 2 参照：但し 2025 年度は見込み値）。

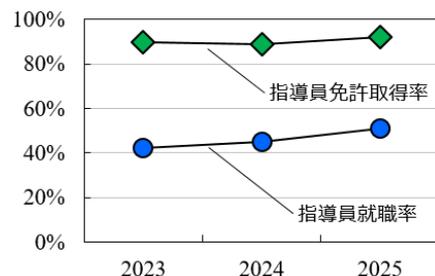


図 2 指導員就職の推移

◆「求む全国からの受験者」受験勧奨を！

小平キャンパスへの移転後、かつての全国から受験があった時代と様変わりし、受験生は首都圏集中の傾向にあります。全国の訓練施設に指導員を輩出し続けるためにも全国津々から入学者を確保することが肝要です。

全国の滄水会の皆さまから親族、知人の方々などを通じて職業大を紹介頂けると幸いです(図 3 参照)。

◆技能分析スタジオ（略称 SAS：Skill Analysing Studio）の最新動向

令和 5 年度春に開設した技能分析スタジオでは、動作解析装置、床反力計、視線解析装置、その他を活用した技能の可視化・分析による先端的取り組みを行っています(図 4、図 5 参照)。



図 3 職業大 QR コード

【動作解析：ネットワーク施工,建築大工,電気工事,等】指導者養成や実技教科書などに反映中

【方略解析：電子機器組立て,等】課題内容を読み解き、段取りなどを考える力を研究中

【メンタル面、国際コミュニケーション力に関する研修】技能五輪国際大会参加の全職種に展開中

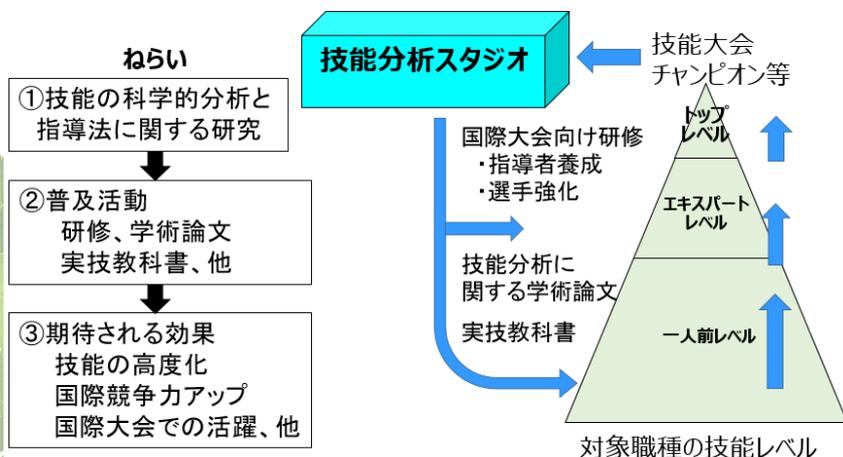


図 4 技能分析スタジオの取り組み概要



図 5 動作解析例（かなん掛け）

総合課程卒業生の現在

2010年の厚生労働省の通達「職業能力開発総合大学校の見直しについて」を受けて、長期課程募集が停止され、2012年に相模原から小川に移転して総合課程が創設されました。この時に入学した学生は卒業して10年程度になります。総合課程の卒業生の近況報告をご紹介します。（総合課程1期生は、通算52期生になります。）

・総合課程1期生 機械専攻 久保田 竜太（くぼた りゅうた）さん

2016年（平成28年）に総合課程機械専攻の1期生として卒業してから、早いもので約10年の月日が流れました。小平での学生生活では、専門課程、応用課程に加え、統合により相模原から移られた長期課程の先輩方や先生方など、多くの方々との出会いに恵まれ、かけがえのない経験となりました。私自身は、職業大に短い期間あった、硬式野球部に所属し、神奈川県大学野球リーグ戦への参加や、東京校と相模原のグラウンドでの練習を通じて、充実した日々を送ることができました。



卒業後は機構に入構し、指導員養成課程を経てポリテクセンター徳島へ赴任しました。徳島では、貴重な機会をいただき、徳島大学大学院に社会人として入学させていただきました。その後、ポリテクカレッジ高知を経て、昨年度からは人事交流として母校である職業大にて勤務しております。学生時代には想像もしていなかった指導員育成の立場となり、微力ながら後輩育成に励んでおります。

また、私事ですが、四国にいた際は、自転車や野球など体を動かす機会に恵まれていましたが、最近は運動不足を感じています。学生に負けないう、体力維持にも努めていきたいと考えております。

・総合課程3期生 電気専攻 高田慶太（たかだ けいた）さん

私は2018年（平成30年）に総合課程の電気専攻を卒業後、職業訓練指導員としてJEEDに入構し、現在まで勤務しております。

最初の赴任地、ポリテクセンター三重では、先輩方に温かくご指導頂きながら、電気設備・消防設備の訓練や、企業実習のコーディネート等の業務を経験しました。5年が経ち、四日市市の奇妙なゆるキャラ「こにゅうどうくん」が段々可愛く見えてきた頃に異動となり、2023年（令和5年）4月に現在の職場である北海道職業能力開発大学校に赴任しました。

授業技術の向上とともに、知識やアイデアの引き出しをもっと増やしていくことが課題と思って仕事をしております。目下の目標は、現在指導している「若年者ものづくり競技大会（電気工事職種）」の選手に、今夏の大会で良いパフォーマンスを発揮してもらえるようにすることです。私自身初めての指導で試行錯誤を重ねており、悩みは尽きませんが、充実した日々を過ごさせてもらっています。

そんな北海道生活では、何と言っても美味しい食べ物が明日への活力の源です。この文章を書いている週末にも、札幌で「ジンギスカンフェスティバル」なるお祭りがあり、いそいそと出かける予定です。



・総合課程1期生 電子情報専攻 西ノ園 太一（にしその たいち）さん

2016年（平成28年）、総合課程電子情報専攻の第1期生として卒業し、気がつけばもうすぐ10年が経とうとしています。

在学中は学生寮に入っていたこともあり、他学科や異なる学年の学生とも分け隔てなく交流することができ、とても楽しく、充実した学生生活を送ることができました。

卒業後は民間企業に就職し、その後、2019年（平成31年）に転職して入構いたしました。指導員養成課程を経て、ポリテクセンター中部に赴任し、離職者訓練・在職者訓練の両方で多くの貴重な経験を積ませていただきました。中部での5年間は、素晴らしい先輩方や後輩に恵まれ、忘れがたい日々となりました。指導員としての基礎をこの地で学べたことに、今でも心から感謝しております。

そして昨年より、ポリテクカレッジ千葉に勤務しております。初めての異動、初めてのカレッジ勤務、さらには初めて携わる総合制作など、当初はさまざまな不安がありました。職員の皆様や学生たちに支えられ、現在は充実した日々を過ごすことができいております。

まだまだ経験不足な点も多くございますが、これまでお世話になった皆様、そして学生たちのために、今後も微力ながら力を尽くしてまいります。



・総合課程1期生 建築専攻 渡邊友也（わたなべ ゆうや）さん

滄水会会員の皆様、初めまして。

職業大総合課程1期生として修了した渡邊友也と申します。僭越ではございますが、この場をお借りして、私の自己紹介と職業大修了から今日に至るまでの略歴をお話しさせていただきたいと思っております。

私は茨城県空間市生まれの31歳になります。通っていた高校の担任の先生から紹介され職業大を受験しました。平成28年3月に職業大を修了してから早いもので9年が経過しました。現在は、ポリテクカレッジ千葉で住居環境科の指導員として業務に携わっております。職業大で得た知識と技術は、今の私の基盤となり、社会での歩みに大いに役立っています。総合課程修了後はポリテクセンター北海道、ポリテクセンター愛媛、ポリテクカレッジ千葉と指導員としての実務経験を積む中で、時には困難に直面しながらも、それらを乗り越えることで成長できたと感じています。また、職場でのチームワークやコミュニケーション能力の重要性も実感し、日々学び続けることの大切さを改めて認識しています。

振り返れば、職業大時代に描いた未来像からは予想以上の展開が待っていましたが、そのすべてが私を形作る大切なものとなりました。これからも、さらに深い専門知識を身につけ、社会に貢献できる人間として歩んでいきたいと思っております。

また、周囲の皆様には多くのご支援とご指導をいただき、心より感謝申し上げます。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

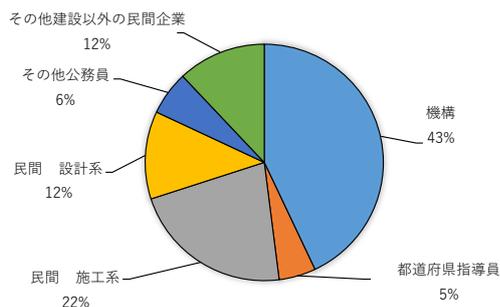


建築系の卒業生に対するアンケート結果

滄水会では、職業大の知名度アップや学生の募集状況の向上に向けて、滄水会会員が社会にでてあらためて感じた職業大の魅力、強み、学生時代に役に立った授業などのアンケート調査を実施いたしました。まず、初めに建築系を対象とした調査を試みております。

その結果、135名の建築系OB・OGの方にご回答いただきました。ここでは、全13項目の質問のうち、主だった項目についてご報告させていただきます。

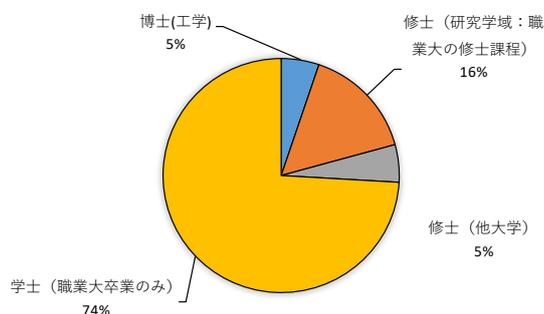
Q.あなたの卒業後の進路を教えてください。
(回答数 135名)



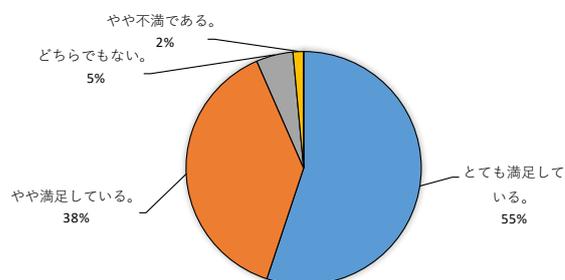
Q.卒業後、あなたが取得した資格について教えてください(主だったもののみ記載)。

資格名称	人数
一級建築士	47
二級建築士	34
一級施工管理技士	16
二級施工管理技士	7
1級技能士(建築大工、設備ほか)	3
宅地建物取引士(宅建)	11
建築構算士	3
コンクリート技士	1
技術士	4
インテリアコーディネーター	10
適判,建築基準適合性判定資格	3
第2種電気工事士	7

Q.あなたの最終学歴を教えてください。
(回答数 128名)



Q.卒業後の満足度(回答数 135名)



Q.あなたが感じる職業大の魅力をおしえてください(主だったもののみ記載)。

ご意見	件数	ご意見	件数
職業大全体として	少人数制	就職について	就職率がよい
	実践的な教育・即戦力になれる		実習を行っていることが就職に有利であると感じる
	授業料が安い	指導員について	指導員免許が取れる
実習・講義	実習(他大学にはないカリキュラム)		指導員というニッチな仕事に就ける
	専門分野について深く学べたこと	教員・学生との	面倒見がよい・指導が手厚い
	実物を触りながら学べる、作れる	係わり合い方	教員が身近
	モノづくりについて学べる		実習が多いので仲間を作りやすい
設備・環境	実習環境・設備が良い	その他のご意見	
			21

【職業大学生課からのお知らせ】
ご親戚・お知り合いの方などへ『総合課程への進学』をご案内ください

OPEN CAMPUS



専攻ツアーやキャンパスツアーなど内容盛りだくさんで実施します。
皆様のご参加を教職員・学生スタッフ一同こころよりお待ちしております。

学園祭同日開催

2025 6/22 SUN | 7/26 SAT | 7/27 SUN | 11/8 SAT | 2026 3/22 SUN

入試情報

入試情報の詳細はこちらから



学校推薦入学試験

出願期間 (消印有効)	試験日	合格発表日	試験会場	入学選考料
令和7年10月1日(水)~10月14日(火)	令和7年10月25日(土)	令和7年11月21日(金)	東京(職業能力開発総合大学校)	22,500円 ※ 別途事務手数料が発生します

一般入学試験

出願期間 (消印有効)	試験日	合格発表日	試験会場	入学選考料
令和8年1月13日(火)~1月24日(土)	令和8年2月13日(金)	令和8年2月27日(金)	東京(職業能力開発総合大学校) 札幌、仙台、大宮、名古屋、大阪、岡山、福岡	22,500円 ※ 別途事務手数料が発生します。

最近のトピック

1 専攻名称変更

今年度の総合課程新入生から、「機械工学専攻、電気工学専攻、電子情報工学専攻、建築工学専攻」と専攻名に工学が追加されました。

2 英文名称の変更

「The Polytechnic University of Japan」へ名称変更され、世界に冠たる唯一無二の大学校にふさわしい名称となりました。略称はこれまでどおり「PTU」です。

3 インスタグラム

職業大のOB・OGの皆様には、母校の近況を親しみやすい形態でお伝えしたいのでインスタグラムを始めました。

実習状況や各種行事など、職業大の“日常”をタイムリーに発信してまいります！



@PTU_OFFICIAL_1961

☆PC画面上から読み込めます！

お問い合わせ

職業能力開発総合大学校
学生部 学生課 学生第一係
【TEL】042-346-7127
【e-mail】ptu05@jeed.go.jp (05は数字です)



【職業大イベント】PTU フォーラム 2025 のご案内

PTU（職業大）では、職業能力開発に関する最新の研究成果や訓練現場での実践事例を共有し、交流を深めることを目的として、「PTU フォーラム 2025」を下記のとおり開催いたします。

今回は「ものづくりとひとづくりで切り拓くGX・DX」をテーマに、訓練指導員の方はもちろん、企業等で活躍されている卒業生および関係者の皆様からの研究・実践発表を広く募集いたします。ぜひこの機会に、日頃の取り組みを共有してみませんか？ また、職業能力開発シンポジウムや特別講演など、充実したプログラムも多数予定しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております！

1. 開催日時

	令和7年11月28日（金）	令和7年11月29日（土）
午前	■ 職業能力開発シンポジウム (10:15~12:30)	■ 職業能力開発研究発表講演会 (9:30~12:30)
午後	■ 職業能力開発研究発表講演会 (13:30~17:00)	■ 特別講演 (13:30~15:30)

2. 会場

職業能力開発総合大学校（東京都小平市小川西町 2-32-1） 3号館

3. イベント **全て参加無料、事前登録不要 ※オンライン参加のみ事前登録制**

(1) 第33回職業能力開発研究発表講演会（以下「研究発表講演会」）
研究成果、職業訓練事例、実践事例報告等 ※発表者募集中です！

(2) 職業能力開発シンポジウム

「未来をつなぐ“技能の地図”ー可視化・分析・継承の新次元ー」
進行役：菊池拓男（職業大教授）、講演者 4名

〔概要〕 製造現場、スポーツ、競技の第一線で技能の可視化に挑む実践者が集い、他分野にわたる事例のもと、技能伝承・教育革新の可能性を探ります。

(3) 特別講演

「世界中のお客様に寄り添ったスズキのものづくり・ひとづくり」
講演者：角野 卓氏 スズキ（株）技術戦略本部長

〔概要〕 カーボンニュートラル社会の実現に向けた技術開発を中心に、最前線でのDXによる技術開発進化への期待、それらを支えるスズキ社員に受け継がれる行動理念、人づくりの取り組み等について講演していただきます。



4. 研究発表講演会への発表申し込み方法

研究発表講演会にて発表（口頭発表）を希望する方は、事前の申し込みが必要です。
以下のURLにアクセスし、必要事項を記入して申し込んでください。

詳細はPTU フォーラム 2025 ホームページへ

<https://www.uitec.jeed.go.jp/kiban/research/forum2025.html>



2次元コードはこちら

【問い合わせ・発表申し込み先】

職業能力開発総合大学校 基盤整備センター「PTU フォーラム事務局」

〒187-0035 東京都小平市小川西町 2-32-1

TEL: 042-348-5075 FAX: 042-348-5098 E-Mail: ptuforum.official@jeed.go.jp

事務局だより

●住所変更等のお願い

会員の皆様の住所変更等がございましたら、滄水会 HP にてお手続きをお願いいたします。
ご不明な点がございましたら、事務局（FAX 042-346-7879 または、E-mail：sousuikai@uitec.ac.jp）までお問い合わせ下さい。

●終身会費

滄水会では、会の存続及び発展のために、2022 年度の卒業生より卒業時に納入頂く終身会費を 2 万円に変更させて頂きました。それに伴い、それ以前の卒業生に 60 歳の時期に追加の終身会費（1 万円）の納入をお願いすることとさせて頂きました。卒業年度が 1984 年度以前の卒業生におかれまして、まだ、60 歳時の追加の終身会費を後納付頂いていないようでしたら、滄水会の発展のため、追加の終身会費（1 万円）を下記口座までお払込みくださいますようお願い申し上げます。

ゆうちょ銀行もしくは郵便局から払込をする場合

記号番号：振替：00150-3 番号：45350 口座名：滄水会

ゆうちょ銀行以外の金融機関から払込をする場合

銀行名：ゆうちょ銀行 支店名：〇一九店（ゼロイチキュウ）

口座種類：当座 口座番号：0045350 口座名義：ソウスイカイ

●維持寄付のお願い

滄水会では全会員の皆様に維持寄付（一口：5000円）をお願いしております。是非、滄水会の発展のため、令和 5 年度の滄水会ニュースに同封いたしました払込用紙を用いてお払込みいただくか、もしくは下記口座までご寄付をお願い申し上げます。

ゆうちょ銀行もしくは郵便局から払込をする場合

記号番号：振替：00250-2 番号：56972 口座名：滄水会

ゆうちょ銀行以外の金融機関から払込をする場合

銀行名：ゆうちょ銀行 支店名：〇二九店（ゼロニキュウ）

口座種類：当座 口座番号：0056972 口座名義：ソウスイカイ

●お願い

各地にお住まいの会員の皆様が交流できる場を設けるため、全国に滄水会の支部を設立する取り組みを開始いたしました。昨年は「滄水会九州支部」を立ち上げ、懇親会を開催いたしました。本年も令和 7 年 8 月 9 日（土）に鹿児島にて開催を予定しております。つきましては、支部設立をご検討中の会員様がいらっしゃいましたら、事務局（E-mail：sousuikai@uitec.ac.jp）までお気軽にご相談くださいますようお願い申し上げます。

